

寺 歴

名称は天祐山公田院仁叟寺といい宗派は曹洞宗である。

將軍足利義満の室町時代の応永元年（1394年）から正長元年（1428年）にかけて吉井町奥平公田に奥平城主奥平貞訓公により創建された。

その後子孫の貞能公が寺領を寄進した大永二年（1522年）に現在の吉井町神保に寺を移して本堂を再建し開基となり、北群馬郡子持村雙林寺四世の高僧、直翁斎正禪師を初代住職に請して開山されたのが現在の寺のはじめである。

開山以来約五百年間戦乱の世にも厳然として格式を保ち続け長根城主小幡公、宮崎城主奥平公、吉井城主菅沼公、地頭長谷川公同じく溝口公などの帰依と手厚い保護を受け、徳川三代將軍家光公の代には寺領および御朱印二十五石を改めて賜った。

下って明治二十三年には政府内務省より、県内全宗派寺院の中から世良田の長樂寺と仁叟寺の二ヶ寺が古社寺保存指定を受け保存御下賜金を受ける。

大正九年に曹洞宗管長より宗門上位の別格地の認可をいただく。この間、当時の豪商秋山豊次郎翁に寺門興隆に尽力された功により中興開基が贈られた。

終戦と共に六町歩以上あった寺の土地は境内地のみ残し、すべて全解放になり明治の廃仏毀釈と同様、苦難の時になるが檀信徒、力を合わせ運営維持がはかられた。

昭和四十六年に仁叟寺全域と古文書が吉井町指定史跡となる。昭和六十三年より平成十二年に至るまで諸堂の改修と建設が進み、現

在の伽藍整備された寺に面目を一新する。この間、特に多大な功績を尽くされた最高顧問檀家・寺本欣正翁に再中興開基と曹洞宗管長表彰が贈られた。

平成七年中国仏教第一の聖地五台山の顯通寺と友好寺院の締結調印をし文殊菩薩の御分身をお迎えし、以来相互交流が続いている。平成十二年日本一の大きさの十三重石宝塔が完成。

末寺は八ヶ寺（現在四ヶ寺）あり名僧が輩出し禅風大いにふるい鎮護国家、万民共和、五穀豊穡を祈願する寺として多くの人々の尊崇を受けて今日にいたっている。

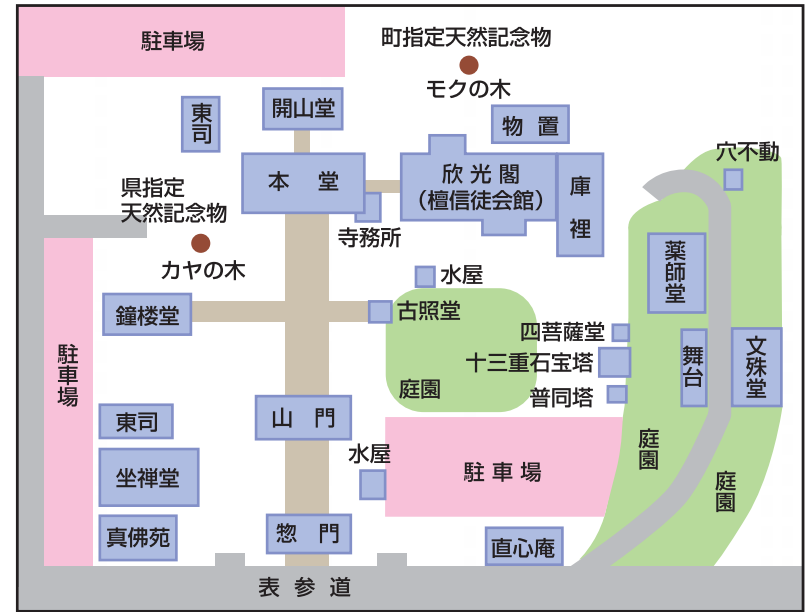


十三重石宝塔

カヤの木（群馬県指定天然記念物）



山門（吉井町指定重要文化財）



- ◎ 惣 門 表参道に面し、寛文3年（1663年）に建立。
 - 坐 禅 堂 昭和63年（1988年）に建てられた本格的坐禅研修道場。
 - ◎ 山 門 宝暦11年（1761年）に建てられた櫓造りの威風ある個性的建物。
 - 古 照 堂 昭和51年（1976年）建立。貴重な仁叟寺多胡碑を収蔵。
 - ◎ 鐘 楼 堂 天和3年（1631年）に建立。著名な梵鐘も同年の鋳造。
 - ◎ 本 堂 本尊釈迦如来を安置した500年になる剛健な大伽藍
 - 欣 光 閣 昭和63年（1988年）完成。宿泊施設も完備した檀信徒会館。
 - 普 同 塔 平成8年（1996年）完成。上部は無縁塔、基壇部は納骨堂。
 - 薬 師 堂 平成6年（1994年）完成。歴代住職守護仏の黒薬師如来が本尊。
 - 文 殊 堂 平成6年（1994年）完成。中国聖地五台山御分身文殊菩薩が本尊。
 - 欣 正 園 平成7年（1995年）完成。庭園内に生類供養塔、子育て観音、平和記念碑、臥釈迦像、穴不動などがある。
 - 直 心 庵 平成8年（1996年）完成。札所兼休憩茶所。
 - 四 菩 薩 堂 平成9年（1997年）完成。中国四大仏教聖地の菩薩と聖砂をまつる。
 - 十三重石宝塔 平成12年（2000年）完成。高さ17m重さ165トン、日本一の大きさ。
- 群馬県指定天然記念物 カヤの木 樹齢500年以上。
吉井町指定天然記念物 モクの木 樹齢300年以上。

◎ は町指定重要文化財。 ○ は寺本欣正翁の寄進建立。